

# F\*TRAN - Ver. 8.0

# 操作説明書/導入編

第1版



# はじめに

F\*TRAN+ V8. 0をお買い上げいただき、ありがとうございます。

F\*TRAN+(エフトラン・プラス)は、汎用機/オフコン/UNIXなどのホストのファ イル転送データと、パソコンの標準であるWindowsファイルとのデータ交換をする汎用性 の高いファイル変換ユーティリティです。Windowsファイル間のデータ変換もできます。 発売以来、多くのユーザにささえられている、実績あるソフトウェアです。

F\*TRAN+ V8.0には、動作するOS別に2種類の製品があります。

■ F\*TRAN+ V8.0 Server
 Server系、およびDesktop系OSで動作
 ■ F\*TRAN+ V8.0 Desktop

Desktop系OSで動作

F\*TRAN+ V8. 0では、Windows10上での動作をサポートしています。

F\*TRAN+のマニュアルには、導入編(本書)、解説編、コマンド編、マルチレコード編、 プログラム応用編があります。

2017年1月

株式会社 富士通ビー・エス・シー

Copyright 1997-2017 株式会社 富士通ビー·エス·シー

# 目



# 第1章 インストール

<ol> <li>1.2 インストールの前に</li></ol>	1.1	マニュアルについて	2
<ol> <li>1.3 インストールの実行</li></ol>	1.2	インストールの前に	3
<ol> <li>インストールが完了したら</li></ol>	1.3	インストールの実行	4
<ol> <li>1.5 旧製品からの移行</li></ol>	1.4	インストールが完了したら	1
1.6       メンテナンスの実行	1.5	旧製品からの移行	2
1.7 アンイストールの実行	1.6	メンテナンスの実行	5
	1.7	アンイストールの実行	0

# 第2章 セットアップ

2.1	セットアップとは
2.2	コード変換表とは
2.3	コード変換表の出荷時設定
2.4	セットアップの手順
2.5	ホスト選択
2.6	変換設定

## 第3章 システム構成

3.1	動作OSと動作環境4	4
-----	------------	---

## 第4章 バージョンアップ内容

4.1	バージョンアップ内容4	6

## 第5章 タッチ&トライ

5.1 ホスト→Winファイル変換	
-------------------	--

## 第6章 サポート・サービスについて

6.1	サポート・	・サービスについて	······6	0
-----	-------	-----------	---------	---

第1章

インストール

# 1. 1 マニュアルについて

本製品のマニュアル構成は以下の通りです。

#### ●操作説明書・導入編

本冊子です。操作説明書は5分冊構成になっており、提供CD-ROMにオンラインマニュア ルとして格納されています。導入編では、インストール、セットアップ、システム構成等につい て説明しています。インストール前にセットアップ画面から導入編の表示ができますので、最初 に必ずお読みください。

#### ●操作説明書・導入編

本冊子です。インストール、セットアップ、システム構成等を説明しています。

#### ●操作説明書・解説編

操作方法がわからない場合、変換仕様などを知りたい場合にお読みください。

#### ●操作説明書・コマンド編

コマンドについて詳細に説明しています。お客様のプログラムから呼び出して利用する場合な どに、お読みください。

#### ●操作説明書・マルチレコード編

マルチレコードレイアウトのファイルを変換する場合に、お読みください。

#### ●操作説明書・プログラム応用編

F\*TRAN+をアプリケーションから利用する場合に、お読みください。

マニュアルとは別に本製品には「R e a d M e」文書が付属しています。製品についての最新 情報はこちらに記載されている場合もありますので、ご利用前に一度お読み下さい。

## ◆注意 ---- ユーザ登録を行ってください。

本パッケージを購入されたユーザー様は、必ずユーザー登録を行ってください。登録が完了し ないとサポート・サービスを受けることができません。(詳細は「6.1 サポート・サービス について」をご参照下さい)

# 1.2 インストールの前に

F\*TRAN+をインストールする前に以下の注意文を必ず読んでください。

#### ◆注意1 ─ 動作OS、エディション、32ビット/64ビットのサポート状況について

サポートするOS、エディション、及び32ビット/64ビット版OSのサポート状況については**『3.1 動作OSと動作環境』**に記載しています。インストール前にご覧下さい。

#### ◆注意2 -- インストールには管理者(Administrator)権限が必要

管理者(Administrator)の資格のユーザアカウントでログオンしてインストー ルしてください。この資格のないユーザアカウントでは、インストール出来ません。

## ◆注意3 -- 既存のF\*TRAN+がインストールされたマシンへのインストールの場合は、 インストールの前に設定のバックアップをとること

インストーラの手順の中でもバックアップを自動でとる機能がありますが、旧バージョンの運 用方法の違いにより、バックアップされない場合があります。万全を期するため、必ず、CCT、 KKTファイルなどの設定ファイルはインストール前にバックアップしてください。

#### ◆注意 ---- 5. 0互換インストールモードについて

F\*TRAN+V7.0まで5.0互換インストールモードというインストール形式が存在して いました。

5.0互換インストールモードとは、F\*TRAN+V5.0以前のバージョンが既にインスト ールされたコンピュータに、上書きでF\*TRAN+をインストールする場合に便利なモードで す。

ただし、WindowsVista以降、Windows Server2008以降のOSで は無条件に標準インストールモードでインストールされます。

よって、F\*TRAN+V8.0以降は5.0互換インストールモードが選択できないようになっています。

# 1. 3 インストールの実行

# ■インストール作業

①OS を起動し、管理者(Administrator)の資格のユーザーアカウントで ログオンします。

②提供CD-ROMをドライブにセットします。

- ③ F \* T R A N + のインストールプログラムが自動で起動します。「F\*TRAN+をインストール(I)」を選択してください。
  - (OSの設定によっては自動で起動しない場合があります。

KAN+		
	1	12 15 19 A. 21
� F*TRAN+ をインストール(D)	Readme(R)	操作説明書/導入編を開((M)
HOST OUTIPATO		
Rai	CIR	AN
F*1	<u>C</u> R	Alind ws
F%	CIR	A vind ws

# その場合はStartup. exeを起動させて下さい)

# ◆参考 ---- ReadMe、導入編をご覧ください

上記画面から「Readme(R)」を選択すると、製品についての最新情報が記載されている Readme が表示されます。また、「操作説明書/導入編を開く(M)」を選択すると導入編のマニュアルが表示されます。

④下記画面が表示されるので「次へ(N)>」を選択してください。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ		×
Ľ	F*TRAN+ V8.0 の InstallShield Wizard へようこそ InstallShield Wizard は、F*TRAN+ V8.0 をコンビューターにインストールし	
	ます。1元1丁するには、レズヘ」をソッツしていたさい。	
	< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル	

## ◆注意 ---- ユーザーアカウント制御画面が表示される場合がある

インストーラ起動時に以下のユーザーアカウント制御による確認画面が表示される場合があ ります(OSの設定によっては表示されない場合もあります)。この場合は「はい(Y)」をクリ ックしてください。インストーラ処理が継続されます。「キャンセル」をクリックするとインス トーラが起動しません。※この画面はOSにより異なります。

לא איד ב- 🗘	フント制御	×
🥐 このアス	別が PC に変更を加えることを許可	しますか?
K	プログラム名: F*TRAN+ 確認済みの発行元: FUJITSU BROAD SC CONSULTING Inc. ファイルの入手先: このコンピューター上の/	DLUTION & \ード ドライブ
⊘ 詳細を表示	する(D) (a	ŧい(Y) いいえ(N)
	これらの通知を表示	示するタイミングを変更する

⑤使用許諾契約書に同意の上で次に進んでくさい。

F*TRAN + V8.0 インストーラ 使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	×
本ソフトウェア名 : F*TRAN+ V8.0	^
使用許諾契約書	
<ol> <li>キソフトウェアの使用および著作権         <ol> <li>ホンフトウェアを1台のパーソナルコンピュータにのみインストールし、使用できます。</li> <li>お客様は、本ソフトウェアのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、 ホソフトウェアの著作権は株式会社富士通ビー・エス・シー(以下「弊社」としいます)また</li> </ol> </li> </ol>	•
<ul> <li>○ 使用許諾契約の全条項に同意します(A)</li> <li>● 使用許諾契約の条項に同意しません(D)</li> </ul>	
Linstalishieid	zılı

⑥ユーザ名(弊社へのユーザ登録者名)、会社名、パッケージ添付のシリアル番号を 入力してください。全ての項目を入力すると「次へ(N)>」ボタンが選択できるように なります。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ <b>ユーザ<sup>・</sup>ー情報</b> 情報を入力してください。		×
フーザータ 会社タ および御島の辺では毎号を入力し	、てから、ビケム日本次いを知らりしてください。	
	/CN-5C DA: 50 / 2227770 C (A2CV 6	
5. #2. 2010.		
I-)-(3(0):		
会社名(C):		
株式会社××××		
) 에기 #무/c)		
2777 WH 5 (3).		
InstallShield		
	く <b>戻る(B)</b> 次へ(N)>	キャンセル

⑦セットアップタイプを選択します。基本的には「すべて」を選んでインストール するのが良いでしょう。

F*TRAN+ V8.0 インスト	
<b>セットアッフ° タイフ°</b> インストールするセッ	アッフ タイフを選択します。
セットアッフ。タイフ。を	選択してください。
© ৰশ্বে(c) =	プログラムの全機能がインストールされます(多くの空き容量が必要です)。
() лхяц(S)	インストールするフログラムの機能を選択します。高度なユーザーに推奨します。
InstallShield	
	< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル

## ◆参考 ---- セットアップタイプについて

2章では「セットアップ」について解説しますが、この「セットアップ」と、ここでの「セットアップタイプ」とは互いに関係のない用語です。

- ⑧インストール先のフォルダを選びます。初期状態の指定のままインストールする
  - ことをお勧めします。

F*TRAN+ V8.0インストーラ <b>インストール先の選択</b> ファイルをインストールするフォルダーを選択します。	×
セットアッフでは、 〉次のフォルダーに F*TRAN+ V8.0 をインストールします。	
このフォルダーへのインストールは、D欠へJボダンをクリックします。	
別のフォルダーヘインストールする場合は、[参照]ホタンを夘ックしてフォルダーを選択してくだざい。	
インストール先のフォルダー C:¥Program Fileo (×86)¥EujitouPSC¥ETRANP	参昭(R)
0.#Frogram Files (X00/#Fujitsuba0#FTRANF	29 AWO A
InstallShield	
< 戻る(B) 次へ (N)>	キャンセル

第1章 インストール——

⑨セットアップタイプを「カスタム」に選択していた場合だけ、表示される画面です。 インストールしたいものを選択してください。ただし、「プログラム」のチェックは 外せません。また、システムファイルのチェックを外した場合、プログラムが動作 しない可能性があります。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ	×
<b>機能の選択</b> インストールする機能を選択します。	
インストールする機能を選択してください。インストールしない機能は、選択	尺を解除してください。
<ul> <li>✓ プログラム</li> <li>▲ ダシステムファイル</li> <li>▲ ダシステムファイル</li> <li>▲ オンライン・マニュアル</li> <li>▲ サンプルプログラムとサンプルデータ</li> </ul>	説明 メインプログラムファイル、関連ライブ ラリおよび各種設定ファイルをインスト ールします。 この機能は非選択にできません。必 ずインストールします。
必要な容量: 18.35 MB(ドライブC) 使用できる容量: 31099.95 MB(ドライブC) InstallShield	
< 戻る	(B) 次へ (N)> キャンセル

⑩もし、旧バージョンのF\*TRAN+がインストールされていた場合は、⑪へ。そうでない場合は⑫へ進みます。

⑪旧バージョンを削除するかどうかを選択します。削除しないで次へ進むことも 出来ますが、この場合の正常動作は保証されません。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ	×
旧バージョンのアンインストール 「F*TRAN+ V7.0」をアンインストールします。	X
現在、IEバージョン〈F*TRAN+ V7.0〉がインストールされています。 インストールするにはIEバージョンをアンインストールしてください。	
☑旧バージョンをアンインストール(削除)する	
I日バージョンをアンインストールせずにこのままインストールした場合、インストールしたソフトウェアが正しく動作しない。 ありますので、アンインストールを行ってください。	ことが
InstallShield 〈 戻る(B) 〉次へ (N)〉	キャンセル

12「インストール」ボタンをクリックするとインストールを開始します。

F*TRAN + V8.0 インストーラ	×
インストール準備の完了	
インストールを開始する準備が整いました。	
[インストール] を夘ックしてインストールを開始してください。	
インストール設定を確認または変更する場合は、 [戻る] を夘ックし します。	。ます。ウィザードを終了するには、[キャンセル]をワリック
InstallShield	
<	戻る(B) インストール キャンセル

13「インストール」終了を待ちます。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ <b>セットアッフ<sup>®</sup> ステータス</b>	×
InstallShield Wizard は F*TRAN+ V8.0 をインストールしています	
インストール中	
C:¥Program Files (x86)¥FujitsuBSC¥FTRANP¥KKTedit.exe	
InstallShield	
	キャンセル

(個インストール完了です。提供CD-ROMをドライブから取り出してください。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ	
	InstallShield Wizard の完了
	InstallShield Wizard が、F*TRAN+ V8.0 を正常にインストールしました。 ウィザートを終了するには、[完了] をりックしてください。
	< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

上記画面ではなく、再起動を要求する画面の場合もあります。提供CD-ROMをド ライブから取り出し、パソコンを再起動してください。

# 1. 4 インストールが完了したら

インストールが完了した際は、以下のことをご確認ください。

# ■問い合わせに備えて

インストール時に設定した情報は、F\*TRAN+のヘルプのバージョン情報のウインドウに 表示されます。

ージョン情報		×
<b>F</b>	F*TRAN+ Version 8.0.0 for Server. Copyright 1997−2016 Fujitsu BSC	
この製品はが	の方にライセンスされています:	
$\times \times \times \times$		
株式会社×>	< × ×	
シリアル番号	: TPS80-	
		ОК

これらは、後日の問い合わせのときに必要になります。さらに購入元、購入担当者名、購入年月日がわかる場合は、これらの情報も併せて、お控え下さい。

## ■Read Meファイル

F\*TRAN+のインストール後のディレクトリには、本書を補う事柄が書かれたテキストフ アイル README. TXT というファイルがあります。これは、必ずお読みください。

# ■ P D F マニュアル

セットアップタイプの指定でオンラインマニュアルのインストールを選択していた場合は、タ ートメニューより、プログラム(<u>P</u>)→F-TRAN+→マニュアル(コマンド編/解説編/導 入編/マルチレコード編/プログラム応用編)を選択すると、PDFマニュアルが見られます。 PDFマニュアルはすべて、「Adobe Reader」などのPDFビューワで表示して ください。

# 1. 5 旧製品からの移行

#### 【旧製品からの移行の方法 それぞれの特徴】

	新機能の利用	スクリプトファイルの 書き換え	CCT/KKT ファイ ルの流用可否	Windows の標準 フォルダ構成の 適合性
V5.3 以降の標準インストールモード からの移行	ー部を除き、大半 が利用可能	書き換えが必要な場 合がある	無変更のまま流 用可能	適合
↓ ∨5.0 まで、または ∨5.3 以降の 5.0 互 換インストールモードからの移行	ー部を除き、大半 が利用可能	必須	無変更のまま流 用可能	適合

#### |◆注意 ---- 標準インストールモードと5.0互換インストールモードについて

本マニュアルにおける「標準インストールモード」とは、初めてF\*TRANシリーズを導入 されるユーザ様向けのインストール方法です。

「5.0互換インストールモード」とはF\*TRAN+V5.0以前のバージョンが既にインス トールされたコンピュータに、上書きでF\*TRAN+をインストールする方法です。F\*TR AN+V8.0以降はすべて「標準インストールモード」でインストールされます。

#### ◆注意 ---- 旧製品からの移行とは?

本マニュアルにおける「旧製品」という言葉は、F\*TRAN+V1.0~7.0のことを指 し、F\*TRAN III/95/98/NT/2000/2006/2007については、 F\*TRAN+とは、全く別の製品であるという扱いです。

ただし、F\*TRAN Ⅲ/95/98/NT/2000/2006/2007のCCTファ イル、及び、KKTファイルについては流用可能であり、スクリプトファイル(拡張子.FT5) やパラメータファイル(拡張子.P)についても設定に手を加えることで流用可能になりますが、 その方法につきましては本マニュアルでは割愛いたします。

## ◆注意 ---- ∨ 5.3以降の標準インストールモードから最新バージョンへの移行には注意が 必要

標準インストールモードでは、CCTやKKTなどの設定ファイルが、使用するユーザーのド キュメント配下に置かれます。V5.3以降を標準インストールモードで使用していて、最新バ ージョンをインストールした場合、このドキュメント配下の設定ファイルは消さずに残っていま す。この状態で使用すると無条件にV5.3以降の設定ファイルを使うことになります。新たな 設定ファイルを使用したい場合、製品のインストールフォルダから設定ファイルをコピーしてく ださい。

# ■移行手順

関係する文章だけをお読みください。

◆ ①~③はF\*TRAN+V5.0、またはV5.3以降を5.0互換インストールモードで 使用していたユーザにのみに関係する内容です。

必要な作業

旧バージョンのインストールフォルダからバックアップしておいたftran.iniを、 各ユーザのドキュメントフォルダの下、

". ¥FTRANP¥EnvGroup¥Env"の中の同名のファイルに対して、 上書きして下さい。

② スクリプトファイルを流用する場合に必要な作業

F\*TRAN+をインストール後、メイン画面を開き、F\*TRANのスクリプトファ イルを読み込みます。そしてそのまま保存しなおすことで、標準インストールモードでは 使われなくなった指定を外すことが出来ます。この指定がファイル内に残ったまま、スク リプトファイルを実行しようとしても、実行できません。ただし、この作業は、スクリプ トファイルを「環境名」を明示的に指定して利用していた場合には、必要ありません。

#### ③複数の「環境」を引き継ぐ場合に必要な作業

各ユーザのドキュメントフォルダの下、".¥FTRANP¥EnvGroup"の下 に各「環境フォルダ」をコピーしてください。その後、各環境フォルダ内に「CCT」と いう名前のフォルダと「KKT」という名前のフォルダを作成した上で、フォルダ直下の CCTファイルとKKTファイルをそれぞれ、この中に移動してください。 ◆④~⑥は全ての旧バージョンユーザに関係する内容です。

#### ④ バッチファイルに直接コマンドを記述して利用している方だけに必要な作業

バッチファイルのコマンドに"/Host"が記載されていない場合、変換時に初期指定 のCCTが呼び出されます。正しいCCTが指定されていないと変換結果が正しくなりま せん。初期指定のCCTはF\*TRAN+をメイン画面から立ち上げ、ホスト選択でホス トを選択して、メイン画面を閉じることで変更可能です。または、バッチファイルに "/Host <CCTファイル名>"のオプション記述を加えてください。

また、"/Environment \* (\*以外の指定がされている場合は残しておいて
も問題ない)""/LogPath""/ErrorLogName"
"/ConvertLogName"が記述されている場合は削除してください。

## ⑤ 旧バージョンのバッチ・スクリプトファイルを引き継ぐ場合に必要な作業

バッチファイルやスクリプトファイルで指定された変換元データや変換先データのパス を確認してください。その上で、バッチファイル内の入出力ファイルのパスの記述を変更 するか、フォルダ構成をバッチファイル内の記述にあわせるかのどちらかを選択して下さ い。

## ⑥ 必要な作業

旧バージョンのインストールフォルダからバックアップしておいたCCTファイル、KKT ファイルを、各ユーザのドキュメントフォルダの下、

". ¥FTRANP¥EnvGroup¥Env"の中の「CCT」と「KKT」にそれぞれの種類のファイルをコピーして下さい。

# 1. 6 メンテナンスの実行

メンテナンスは、既にインストールされているF\*TRAN+に対してモジュールの破損の修 正、及び、機能の追加と削除を行うためのものです。以下の手順に従って進めてください。

① Windowsの「コントロールパネル」の「プログラムと機能」を開きます。

┇ プログラムと機能		– 🗆 X
← → · ↑ 🖬 « プログ ›	<b>プログラムと機 &gt; </b> つ プログラムと	機能の検索  タ
コントロール パネル ホーム	プログラムのアンインストールまたは	は変更
インストールされた更新プログラムを 表示	プログラムをアンインストールするには、一覧; [アンインストール]、[変更]、または [修復] ?	からプログラムを選択して をクリックします。
<ul> <li>Windows の機能の有効化または 無効化</li> </ul>	整理 ▼ アンインストール 変更	≣≡ ▼ (?)
	名前	発行元
	💯 F*TRAN+ V8.0	FujitsuBSC
	FujitsuBSC 製品バージョン: 4 ヘルプのリンク: 1	3.00.0000 http://www.fujitsu.com/j

※この画面はOSにより異なります。

#### ◆参考 ---- CD-ROMからの実行も可能

既にF\*TRAN+がインストールされているパソコンに、製品CD-ROMをセットして自動的に起動するインストールプログラムから「F\*TRAN+をインストール(I)」を選択すると、メンテナンスモードでインストーラが実行されます。

②F\*TRAN+を選択し「変更」をクリックします。以下の画面が表示されたら、 各オプションを選択して「次へ」をクリックします。

F*TRAN+ V8.0イン	۶۲-۶ X
<b>ようこそ</b> プログラムを変更	2、修正、または削除します。
F*TRAN+ V8. ができます。次の	0 セットアップ メンテナンス プロケラムへようこそ。このプロケラムを使って、現在のインストールを変更すること のオプジョンをクリックしてください。
◉変更(M)	
<b>.</b>	追加する新しいプロゲラム 機能を選択するか、あるいは削除するインストール済みの機能を選 択してください。
〇 修正(E)	前回のセットアップでインストールしたすべてのプロゲラム 機能を再インストールします。
〇肖明除(R)	すべてのインストールされている機能を削除します。
	< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル

# ◆注意 ---- ユーザーアカウント制御画面が表示される

以下のユーザーアカウント制御による確認画面が表示される場合があります(OSの設定によっては表示されない場合もあります)。この場合は「はい(Y)」をクリックしてください。処理が継続されます。**※この画面はOSにより異なります**。

📢 ユーザー アカウント制御	×	
プログラム名: アプリケーションのアンインストールまたは変更 確認済みの発行元: Microsoft Windows		
◇ 詳細を表示する(D)	はい(Y) いいえ(N)	
これらの通知を表示するタイミングを変更する		

③次ページに、②で選んだオプション毎の説明を記します。

# ■変更を選んだ場合

①チェックを入れたものがインストールされます。また、チェックを外して次へ進むと、
 既にインストールされていた機能がアンインストールされます。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ <b>機能の選択</b> インストールする機能を選択します。	×
インストールする機能を選択し、アンインストールする機能の選択を解 	除します。 説明 メインプログラムファイル、関連ライブ ラリおよび各種設定ファイルをインスト ールします。 この機能は非選択にできません。必 ずインストールします。
必要な容量: 0.00 MB(ドライブC) 使用できる容量: 31076.06 MB(ドライブC) InstallShield	える(B) 次へ (N)> キャンセル

①処理が終わると完了です。

F*TRAN+ V8.0インストーラ	
ی	<b>メンテナンスの完了</b> InstallShield Wizard は、F*TRAN+ V8.0 上のメンテナンスを完了しました。
	< 戻る(B) 完了 キャンセル

# ■修正を選んだ場合

①進捗画面が表示されるので、完了まで待ちます。

②以下の画面が表示されれば、完了です。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ	
<u>ځ</u>	メンテナンスの完了
	InstallShield Wizard は、F*TRAN+ V8.U 上()がクテアスを元子しました。
	< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

# ■削除を選んだ場合

① 削除の確認画面が表示されます。「はい(Y)」をクリックしてください。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ		×
選択したアブリケーション、およびす	べての機能を完全に	削除しますか?
	はい(Y)	เงเงิร์(N)

② 処理が終わるのを待ちます。

③ アンインストール完了です。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ	
	アンインストール完了
	InstallShield Wizard は F*TRAN+ V8.0 のアンインストールを完了しました。
	< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

## ◆注意 ---- アンインストール時に再起動が必要なことも

上記画面ではなく、再起動を要求する画面の場合もあります。これは、アンインストール時に 削除しようとしたファイルが、他のプログラムで使われていた等の理由で、削除されない場合が あるからです。パソコンを再起動することで、削除できなかったファイルが自動的に削除され、 アンインストールが正常に完了します。

# 1. 7 アンインストールの実行

ハードディスクにインストールした、F\*TRAN+をアンインストール(削除)する場合は、 つぎの方法で実行してください。

# ●アンインストールプログラムを実行する

① Windowsの「コントロールパネル」の「プログラムと機能」を開きます。

👩 プログラムと機能		– 🗆 X
←      →	プログラムと機 v ひ プログラムと	機能の検索・
コントロール パネル ホーム	プログラムのアンインストールまた	は変更
インストールされた更新プログラムを 表示	プログラムをアンインストールするには、一覧 [アンインストール]、[変更]、または [修復]	からプログラムを選択して をクリックします。
Windows の機能の有効化または 無効化	整理 ▼ アンインストール 変更	≣≕ ▼ (?)
	名前	発行元
	💯 F*TRAN+ V8.0	FujitsuBSC
	FujitsuBSC 製品バージョン: ヘルプのリンク:	8.00.0000 http://www.fujitsu.com/j

## ※この画面はOSにより異なります。

②F\*TRAN+を選択し、「アンインストール」をクリックします。次の画面が表示されたら、「はい(Y)」をクリックしてください。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ	×
選択したアブリケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか?	
(はい(Y) いいえ(N)	

## ◆注意 ---- ユーザーアカウント制御画面が表示される

以下のユーザーアカウント制御による確認画面が表示される場合があります(OSの設定によっては表示されない場合もあります)。この場合は「はい(Y)」をクリックしてください。処理が継続されます。**※この画面はOSにより異なります**。

🌍 ユーザー アカウント制御	×
<table-cell-rows> このアプリが PC に変更を加える</table-cell-rows>	ことを許可しますか?
プログラム名: アプリケー: 確認済みの発行元: Microsof	ションのアンインストールまたは変更 ft Windows
◇ 詳細を表示する(D)	(はい(Y) いいえ(N)
<u>zh60</u>	の通知を表示するタイミングを変更する

② 処理が終わるとアンインストール完了です。

F*TRAN+ V8.0 インストーラ	
	アンインストール完了
	InstallShield Wizard は F*TRAN+ V8.0 のアンインストールを完了しました。
	< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル

# ◆注意 ---- アンインストール時に再起動が必要なことも

上記画面ではなく、再起動を要求する画面の場合もあります。これは、アンインストール時に 削除しようとしたファイルが、他のプログラムで使われていた等の理由で、削除されない場合が あるからです。パソコンを再起動することで、削除できなかったファイルが自動的に削除され、 アンインストールが正常に完了します。

## ◆注意 ---- アンインストールでは、データフォルダが削除されない

各ユーザデータフォルダが削除されません。CCT、KKTファイルは残るため、バックアッ プする手間はかかりませんが、消去したい場合は、手動でF\*TRANを利用した人数分のユー ザデータフォルダの削除が必要です。

#### ◆注意 ---- アンインストールでは、アプリケーションデータフォルダが削除されない

各アプリケーションデータフォルダ配下の「FTRANP」フォルダが削除されません。ここに は、F\*TRAN+の起動に必要な情報が格納されている他、デフォルトで使用するCCTの指 定が格納されています。全く新規にF\*TRAN+をインストールしたい場合は手動で削除する 必要があります。格納場所は以下の通りです。

「%USERPROFILE%AppData¥Roaming¥FTRANP¥」

第2章

セットアップ

# 2. 1 セットアップとは

インストールが終了したら、つぎの作業は「セットアップ」です。F\*TRAN+でいうセットアップとは、コード変換表ファイルを選択・修正して、利用者ごとの運用形態に合わせる作業のことです。

セットアップは、何度やり直しをしてもかまいません。運用形態が変わったり、相手ホストが 変わったりした時に、よくセットアップのやり直しが必要になります。

以下に、旧バージョンとの相違を記します。旧バージョンから移行してV8.0を利用される お客様はよくお読みいただいた上で、セットアップをしてください。

#### F\*TRAN+ V4.0までとの相違

V4.0までとは変換に関して一部動作が変更になっています。以下の設定内容を確認して、 今までの設定内容や動作と異なる場合は修正してください。

※最新の相違点は当社ホームページをご覧ください。

#### ホストCOBOLベンダ

#### ・<u>変更内容</u>

V4.0までは『変換設定』画面にありましたが、V5.0からは『変換設定→コード変換方式→詳細設定』画面に移りました。

・注意点

この変更による設定の見直しは必要ありません。

#### WindowsCOBOLベンダ

#### 変更内容

V4.0までは『変換設定』画面にあり、各ホスト別にWindowsCOBOLベンダ が設定されていましたが、V5.0からは『環境設定→主設定の変更』画面に移り、ホス トの選択に関わらす初期値が『マイクロフォーカス』に設定されています。

・注意点

この設定値は以前のバージョンからは引き継がれません。設定値がマイクロフォーカス以外で使用していた場合には設定値を確認して以前と同じ設定にする必要があります。この 設定はWindowsの符号付ゾーン形式に変換する場合に影響する設定です。

#### ホストエンディアン

・変更内容

V4.0までは『変換設定』画面にありましたが、V5.0からは 『変換設定→コード変換方式→詳細設定』画面に移りました。

・注意点

この変更による設定の見直しは必要ありません。

## ANKコード

・<u>変更内容</u>

V4. 0までは『変換設定』画面と、『変換設定→漢字変換方式→詳細設定』画面にあり ましたが、V5. 0からは『変換設定→コード変換方式→詳細設定』画面だけになりまし た。これに伴い、『Ankコマンド』が廃止されました。

・注意点

バッチファイルなどでAnkコマンドを使用している場合は修正が必要になります。

#### マップ設定

#### ・変更内容

出力幅の省略値がV4.0までは基本的に『入力幅と同じ』でしたが、V5.0からは入 カコードと出力コードから入力幅に指定された値を最小として自動的に計算して求める 方式に変更されたため、必ずしも入力幅=出力幅ではなくなりました。特に、定数挿入で 半角英数カナ記号文字を挿入する場合の出力幅の省略値が、V4.0までは

『見た目の文字数』でしたが、V5.0からは『見た目の文字数×2』と変更されました。 また、V4.0までは漢字変換の定数挿入でHighValue、LowValueが指定可能でしたが、V5.0からは指定できなくなっています。

・注意点

H i g h V a I u e、L o w V a I u eの挿入はA n k 変換やバイナリ変換を使用して下 さい。また、変換してみて結果が今までと異なる場合はマップ設定の入力幅、出力幅の指 定などを見直してください。

詳細は『操作説明書/解説編』または『操作説明書/コマンド編』をご覧下さい。

#### ホスト拡張漢字

・変更内容

ホスト拡張漢字で、漢字対応表に登録されていない文字の変換方法として、V4.0まで は『ゼロイー変換』が可能でしたが、V5.0からは『ゲタ変換』と『クエスチョン変換』 のみになりました。

・注意点

ゼロイー変換が設定されているCCTファイルを読み込んだ場合はゲタ変換に設定が変更されます。

#### 漢字対応表

#### ・<u>注意点</u>

漢字対応表の登録数が、V5.0にて大幅に増えています。新しい漢字対応表を使用したい場合は、F\*TRAN+のインストールディレクトリ内の『Templates¥CCT』の各フォルダに格納されているので、手動でコピーしてください。

#### 漢字項目内の半角スペースの変換(ホストが汎用機・オフコン系で、ホスト⇒Win 変換時)

#### ・<u> V 4. 0 以前の動き</u>

漢字項目内に半角スペースが奇数個連続して存在する場合、最後の半角スペースは、半角 スペースとしてそのまま出力される。

#### ・<u>V5.0からの動き</u>

漢字項目内に半角スペースが奇数個連続して存在する場合、最後の半角スペースが、指 定の全角スペースに置き換えられる。

#### 漢字項目内の半角スペースの変換(ホストがオープン系、且つ、スペース置換を指定しない時)

# ・<u>V4.0以前の動き</u> 漢字項目内の半角スペースは、指定の半角スペースとして出力される。

#### V 5. 0からの動き

漢字項目内の半角スペースは、指定の全角スペースとして出力される。

#### マップ設定(ホスト→Win 時のパック・表示、ゾーン・表示変換)

#### • V 4. 0以前の動き

前ゼロありで変換した場合、ピクチャの指定から計算された出力幅分がゼロで埋まります (符号部を除く)。

出力幅がピクチャの長さより長い場合、その分は空白で埋まります。

#### V 5. 0からの動き

前ゼロありで変換した場合、出力幅の長さ分がゼロで埋まります。入力符号ありで元デー タがプラスの場合、符号部分もゼロで埋まります。

## ■ F\*TRAN+ V5.0までとの相違

#### 一部UNIX向けのホストCOBOL設定の初期値

・注意点

F\*TRAN+V5. 0までのバージョンでは、サン・マイクロシステムズ用、

IBM用、日本HP用のUNIX設定のコード変換表の初期値において、ホスト

COBOLが「ACUCOBOL - Dca」に設定されていましたが、V5.3からは「マイクロフォーカス MICRO FOCUS COBOL」に設定されています。

#### ■ F\*TRAN+ V5. 3との相違

#### 出力されるログの変更

出力されるログのフォーマットに一部変更・追加が行われています。また、メッセージの 内容が一部変更になっています。詳細は『操作説明書/解説編』をご覧ください。

# 2. 2 コード変換表とは

F\*TRAN+の動作を決める重要なファイルである、コード変換表(ファイル)について説明します。

#### ●コード変換表(ファイル)とは

コード変換表とは、ANKコードや漢字変換方式の設定、EBCDIC変換に使うANK変換 表などが記録されている、拡張子が". CCT"のファイルのことです。

コード変換表ファイルと呼ぶ場合と、単にコード変換表と呼ぶ場合があります。コード変換表 ファイルというときは、メモリに読み込まれる前のディスク上のコード変換表を指します。単に コード変換表というときは、ディスク上にあるときの状態とメモリに読み込まれた状態の総称で す。

通常、コード変換表ファイルは、F\*TRAN+の起動時に指定のディレクトリからメモリに 読み込まれます。F\*TRAN+は起動時に読み込んだコード変換表を参照してANK変換、漢 字変換、数値変換などを行ないます。これがないと、F\*TRAN+は動作を決めることができ ません。そのため、

#### コード変換表ファイルが見つからないとF\*TRAN+は起動すらできない

という制約があります。 初期状態において次のコード変換表が搭載されています。

<汎用機・オフコン用>

F-TRAN. CCT	汎用機・オフコン用(標準)のコード変換表
F. CCT	富士通方式用のコード変換表(F-TRAN.CCTと同様)
H. CCT	日立方式用のコード変換表
N. CCT	NEC方式漢字変換用のコード変換表
NA. CCT	NEC方式ANK変換用のコード変換表
T. CCT	東芝方式用のコード変換表
I. CCT	IBM方式用(標準)のコード変換表
I2. CCT	I BM方式用(コードページ 290/1027)のコード変換表
IORG. CCT	F*TRAN+V2.5互換のIBM方式用のコード変換表
M. CCT	三菱方式用のコード変換表
U. CCT	日本ユニシス方式用のコード変換表

<Un i x用>

UNIX. CCT	UNIX用(標準)のコード変換表
U-EUCJP. CCT	eucJP-open用のコード変換表
U-FU. CCT	富士通EUC-U90用のコード変換表
U-FS. CCT	富士通Sファミリ用のコード変換表
U-FD. CCT	富士通DS/90シリーズ用のコード変換表
U-I. CCT	日本IBM AIX用のコード変換表
U-H. CCT	日立用のコード変換表
U-N. CCT	N E C 用のコード変換表
U-SUN. CCT	サン・マイクロシステムズ Solaris用のコード変換表
U-HP. CCT	日本HP用のコード変換表

<Windows

WIN. CCT	Windows相互変換用(標準)のコード変換表
WIN-UCS2. CCT	Unicode(UCS-2)のコード変換表
WIN-UTF8. CCT	Unicode(UTF-8)のコード変換表

普通は、この中からホストのタイプに合ったコード変換表を選択し、自社用にセットアップして使います。これは、同じメーカーのホストであっても、各ホスト毎に文字コード等がカスタマイズされていることが多いからです。なお、利用者がさらに別のコード変換表を作って使うこともできます。

# 2. 3 コード変換表の出荷時設定

標準提供のコード変換表ファイルについて、出荷時の設定がどのようになっているか説明します。

●コード変換表の出荷時設定(汎用機・オフコン用)

F-TRAN. CCT

汎用機・オフコン用(標準)のコード変換表ファイルです。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ)←→JIS8/ASCII
コード変換方式	富士通JEF方式(ほか、10数種類が登録ずみ)
ANK変換表	ほぼ標準的と思われる設定
コメント	「標準設定」

#### F. CCT

富士通のシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファ イルです。出荷時の設定は、上のF-TRAN. CCTとほぼ同じです。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ)←→JIS8/ASCII
コード変換方式	富士通JEF方式(ほか、10数種類が登録ずみ)
ANK変換表	ほぼ標準的と思われる設定
コメント	「富士通方式用(JEF84)」

H. CCT

日立のシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ)←→JIS8/ASCII
コード変換方式	日立KEIS方式(ほか、10数種類が登録ずみ)
ANK変換表	ほぼ標準的と思われる設定
コメント	「日立方式用(KEIS83)」

- 第2章 セットアップ

N. CCT

NEC方式の漢字変換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。 NEC内部コード(E)を扱うときは、このコード変換表をお使いください。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ)←→JIS8/ASCII
コード変換方式	NEC JIPS (E) 方式 (ほか、9種類が登録ずみ)
ANK変換表	NEC方式。英小文字は英大文字に変換する
コメント	「NEC方式漢字変換用」

NA. CCT

NEC方式のANK変換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。 漢字変換もできますが、NEC内部コード(E)には対応していないのでご注意ください。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ)←→JIS8/ASCII
	変更しないでください
コード変換方式	NEC JIPS(E)方式。英小文字が有効
	NEC JIPS (J),
	NEC内部コード(J)も登録ずみ
	(ほか、4種類が登録ずみ)
ANK変換表	NEC方式。カスタマイズする必要がありません。
コメント	「NEC方式ANK変換用」

T. CCT

東芝のシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。

ANK⊐−ド J	IS8∕ASCII←→JIS8∕ASCII
コード変換方式 東	芝方式(漢字コードはJIS)
(	ほか、4種類が登録ずみ)
ANK変換表 使	用されないが、他のコード変換表にあわせて搭載。
コメント	東芝方式用」

第2章 セットアップ---

I. CCT / I2. CCT / IORG. CCT

IBMのシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。

ANKコード コード変換方式	EBCDIC(カタカナ)←→JIS8/ASCII IBM漢字(DBCS-Host)方式(ほか、4種類が登録ずみ)
ANK変換表	ほぼ標準的と思われる設定(3種類)
コメント	
I. CCT	「IBM方式用(標準)」
I2. CCT	「IBM方式用(コードページ290/1027)」
IORG. CCT	「IBM方式用(オリジナル)」

新規にF\*TRAN+を導入された方は、I. CCTとI2. CCTをご利用ください。

I. CCTのカタカナ版では、英小文字は英大文字に変換します。I2. CCTのカタカナ版では、英小文字は英小文字として変換します。

IORG. CCTはV2. 5に添付されていた IBMホスト用のコード変換表ファイルです。 V2. 5以前のバージョンとの互換用として残してあるものです。IORG. CCTのANK変 換表は、初期状態において IBM社のコードページと異なるコードポイントが登録されています。

M. CCT

三菱のシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。

АNК⊐-К Е	BCDIC(カタカナ)←→JIS8/ASCII
コード変換方式 三	菱MELCOM方式(ほか、10数種類が登録ずみ)
ANK変換表 ほ	ぼ標準的と思われる設定
コメント 「	三菱方式用」

U. CCT

日本ユニシスのシステムとのデータ交換向けに、あらかじめセットアップしてあるコード変換表ファイルです。

ANKコード	EBCDIC(カタカナ)←→JIS8/ASCII
コード変換方式	日本ユニシスLETS-J方式
	(ほか、10数種類が登録ずみ)
ANK変換表	ほぼ標準的と思われる設定
コメント	「日本ユニシス方式用」

#### ●コード変換表の出荷時設定(Unix用)

Unix用のコード変換表はつぎのような名称(コメント)になっており、

UNIX. CCT	「標準設定(Unix)」
U-EUCJP. CCT	「eucJP-open用」
U-FU. CCT	「富士通EUC-U90用」
U-FS. CCT	「富士通Sファミリ用」
U-FD. CCT	「富士通DS/90シリーズ用」
U-I. CCT	「日本IBM AIX用」
U-H. CCT	「日立用」
U-N. CCT	「NEC用」
U-SUN. CCT	「サン・マイクロシステムズ Solaris用」
U-HP. CCT	「日本HP用」

コード変換方式は、EUCコードに設定されています。それぞれのコード変換表は、メーカー 固有の漢字対応表情報を持っています。

#### ●コード変換表の出荷時設定(Windows用)

Windows用のコード変換表はつぎのような名称(コメント)になっており、

WIN. CCT 「標準設定(Windows)」 WIN-UCS2. CCT 「Unicode(Windows, UCS-2)」 WIN-UTF8. CCT 「Unicode(Windows, UTF-8)」

コード変換方式は、それぞれ、シフトJIS、UCS-2 LE、UTF-8に設定されています。

# 2. 4 セットアップの手順

●セットアップの手順 セットアップ作業は、つぎの手順で行ないます。

- F\*TRAN+を起動する。)
- 2. 設定メニューの「ホスト選択」を行なう。
- 3. 設定メニューの「変換設定」を行なう。 提供時の設定で問題なければ、変更する必要はありません。 以下の項目を環境に合うように設定・確認してください。
  ①コメント/ホストのタイプの設定
  ②コード変換方式の設定
  ③漢字対応表の設定
  ④ホストCOBOLベンダの設定
  ⑤Windows COBOLベンダの設定
  ⑥ホストエンディアンの設定
  ⑦ANKコードの設定
  - ⑧ANK変換表の編集
- 4. コード変換表の保存
   設定が完了したら、コード変換表をハードディスクに保存してください。
   (保存しないで、試行することも可能です。)
- (5. F\*TRAN+を終了する。)

以上です。

スタートメニューより、プログラム ( $\underline{P}$ ) → F − T R A N + をクリックして、F \* T R A N + を起動してください。

# 2. 5 ホスト選択

最初に、メニューバーの設定(<u>S</u>)→ホスト選択(<u>H</u>)をクリックし、つぎのウインドウを開きます。ここで、基準となるホストを選択します。

ホスト選択	
汎用機・オフコン用( <u>A</u> ) Unix用(B	》 Windows相互変換用( <u>C</u> )
コメント / ホストのタイプ	コード変換表ファイル名
標準設定の汎用機・オフンク 富士通方式用 日立方式用 IBM方式用(標準) IBM方式用(ロート <sup>ヘヘ</sup> ーシン290/1027) IBM方式用(オリシナル) 三菱方式用 NEC方式漢字変換用 NEC方式ANK変換用 東芝方式用 日本ユーシス方式用	F-TRANCCT F.CCT H.CCT ICCT ICCT IDRG.CCT M.CCT N.CCT NA.CCT T.CCT U.CCT
☑ 次回も二の設定を使用する(№)	
$ \begin{array}{c} \cdot \\                                   $	3 5 6

 ①ホスト系を汎用機・オフコン用(<u>A</u>)、UNIX用(<u>B</u>)、Windows用(<u>C</u>)のボタンで 選択します。

②選択できるホストのタイプが表示されるエリアです。

使用しているホストに合った項目をクリックして選択します。

③実際に設定されているコード変換表ファイル名が表示されるエリアです。

④選択したホストの情報を保存するためのチェックボックスです。

次回にF\*TRAN+を起動した時に、選択したホストを基準にする場合は、ONにします。 一時的にホストを変更する場合は、OFFにします。デフォルトは、ONです。

セットアップでは、ONのままにします。

⑤②の選択が完了した状態でOKボタンをクリックすると、基準となるホストが確定します。 ⑥キャンセルボタンをクリックすると、ホスト選択を中止します。

# 2. 6 変換設定

つぎに、メニューバーの設定(<u>S</u>)→変換選択(<u>S</u>)をクリックし、つぎのウインドウを開き ます。ここで、コード変換に関する設定等をします。



①読み込まれているコード変換表のファイル名が表示されています。
 ②コメントの変更ができます。

コード変換表は、40文字以内のコメントをつけることができます。

③コード変換方式の選択項目です。どのコード変換方式を使うかを割り当てます。

④コード変換方式の設定変更ボタンです。コード変換方式の設定内容を細かく変更できます。⑤漢字変換時に使われる漢字対応表を選択することができます。

⑥選択されている漢字対応表を有効にするチェックボックスです。

⑦漢字対応表エディタを起動するボタンです。漢字対応表の修正ができます。

⑧COBOLのCopy句を読み込むときの設定を行うウインドウが開きます。

詳細は、操作説明書/マルチレコード編を参照してください。

⑨ANK変換表の編集ボタンです。

JIS8/ASCII、Unicode(半角・全角)、EBCDIC(カナ・英小文字) それぞれが対応付けられている変換表の表示・修正ができます。 ⑩ユーザーA/B変換表の編集ボタンです。

2つの、ユーザが任意に定義できるANK変換表(1バイト単位のコード変換表)の表示・ 修正ができます。

①コード変換表の書き込み(保存)を行い、変換設定のウインドウを閉じます。 修正したコード変換表を元のファイルに書き戻すだけでなく、

別の名前のコード変換表としてディスクに書き込むこともできます。

12OKボタンをクリックすると、修正した変換設定が有効になります。

ただし、あくまでメモリ上の変更であり、

コード変換表ファイルに書き込まれるわけではありません。

③キャンセルボタンをクリックすると、修正した変換設定を無効にし、変換設定のウインドウを閉じます。なお、ユーザーA/B変換表編集画面、ANK変換表編集画面、コード変換方式の詳細設定画面などでOKボタンを押してもここでキャンセルを選ぶと全ての修正が無効になります。

# ■コメント/ホストのタイプの設定

コード変換表にはコメント/ホストのタイプをつけておくことができます。セットアップ内容 を反映したコメントをつけておくと、安全な操作が期待できます。 第2章 セットアップ---

# ■コード変換方式の設定

漢字を扱うなら、必ずこの設定をしなければいけません。

ホストの漢字コード体系は各社各様で、統一された方式はありません。そのために、利用者が F\*TRAN+に、どの方式で漢字変換するのかを教えてやらなければいけません。コード変換 表には、あらかじめ数種類のコード変換方式が登録されています。そのなかから、適するものを 選択してください。

#### ●適するコード変換方式がないとき

適するコード変換方式がないときは、新規作成を選択し、似た設定のものを参照してアレンジ し、自分で新しいコード変換方式を登録する必要があります。

#### ●コード変換方式の詳細設定

適するコード変換方式(または新規作成)を選択したら、詳細設定(<u>D</u>)ボタンをクリックして、設定の詳細を確認します。

<ホストが汎用機・オフコンの場合>

コード変換方式設定(決	.用標・オフコン) 🛛 🔀
名前(N):	JEF
ב×ン⊦©:	富士通 JEF(12ポイント), KI/KO=28/29
אאג⊐~ד'( <u>A</u> ):	EBCDIC(カタカナ)
漢字コード(Ϗ):	JIS + 8080
漢字イン型:	28
漢字アウト( <u>0</u> ):	29
シフト節約度( <u>S</u> ):	中 (Win→ホストファイル変換時)
ホスト漢字スペース( <u>B</u> ):	¥角×2(4040) ▼
Win漢字スペース(W):	¥角×2(2020) ▼
ホスト拡張漢字( <u>E</u> ):	‴=″変換
Win拡張漢字:	『="変換固定 =の代替(出): =
ホストエンディアン( <u>N</u> ):	ビッケ(正順)
ホストCOBOLへツダ(L):	(なし) … 枳ト用COBOLを設定しない 🛛 💉
ホスト種別:	●一般☆ ○IBM eServer iSeries[AS/400](Y)
参照( <u>R</u> )	削除( <u>D</u> ) OK キャンセル
	~

<ホストがUnixの場合>

コード変換方式設定(Uni	ix) 🔀
名前( <u>N</u> ):	EUC
⊐xン+©:	EUC=-F
ホスト漢字スペース(B): (Win→ホスト)	全角 (A1A1) < □置換する( <u>A</u> )
Win漢字スペース( <u>W</u> ): (ホスト→Win)	全角 (8140) 💙 🗌 置換する(S)
半角力タカナ(K): (Win→ホスト)	通す =の代替の: =
未定義力タカナ: (ホスト→Win)	『="変換固定 =の代替(0): =
ホスト拡張漢字( <u>F</u> ):	‴=″変換
Win拡張漢字:	『="変換固定 =の代替(出): =
ホストエンティアン( <u>N</u> ):	ビック (正順)
ホストCOBOL^シタヾ( <u>L</u> ):	富士通 … Power COBOL97(85) 💌
参照( <u>R)</u> )	削除( <u>D</u> ) OK キャンセル
	✓

<ホストがWindowsの場合>

コード変換方式設定(Wir	) 🔀
名前( <u>N</u> ):	SJIS
⊐xン⊦©:	シフトJIS
ב~⊬©:	SJIS
ホスト漢字スペース(B): (Win→ホスト)	全角 (8140) <
Win漢字スペース(W): 休スト→Win)	全角 (8140) 🔽 🗌 置換する(S)
ホスト拡張漢字( <u>F</u> ):	"="変換 ■の代替(G): =
Win拡張漢字:	『="変換固定 =の代替(出): =
ホストエンディアン( <u>N</u> ):	リトル(逆順) 🔽
/›ኀ/トオータʹーマーク(BOM)( <u>M</u> ):	BOMAL
ホストCOBOLベンダ(L):	マイクロフォーカス … Net Express (MICRO FOCUS COBOL) 💌
参照( <u>R)</u> [ ]	削除( <u>D</u> ) OK キャンセル
	×

必要であれば、変更します。設定変更の操作自体は簡単ですが、その意味・内容はわかりにく いものです。操作説明書/解説編の「変換設定」の説明を読んでから、変更を行なってください。 変更の必要がないなら、キャンセルボタンをクリックしてください。

# ■漢字対応表の設定

漢字変換時に使われる漢字対応表を設定します。漢字体系に合った漢字対応表を選択し、有効 のチェックボックスをONにします。通常は、ホスト選択をした時点で、そのホストに対応した 漢字対応表が設定されていますので、変更する必要はありません。

## ■ホストCOBOLベンダの設定

ホストCOBOLのゾーン形式データを変換する場合は、この設定が重要になります。つぎの 7種類から選択できます。選択しないこともできます。

富士通	Power COBOL97 (85)
日立	COBOL85
NEC	COBOL85
マイクロフォーカス	MICRO FOCUS COBOL *
Acucorp	AcuCOBOL (コンパイルオプション : -Dca)
Acucorp	AcuCOBOL (コンパイルオプション : -Dci)
Acucorp	AcuCOBOL (コンパイルオプション : 一Dcm)

\*)ホストがWindowsの場合は、

富士通

**マイクロフォーカス** Net Express (MICRO FOCUS COBOL) です。

ホストが「汎用機・オフコン」の場合、「ホスト種別」を正しく選択してください。通常は「一般」で問題ありませんが、お使いのホストがIBM AS/400の場合は「IBM eServer iSeries[AS/400]」を選択しないと符号付きゾーン、パック形式の変換が正しくできない場合があります。

# ■Windows COBOLベンダの設定

Windows COBOLのゾーン形式データを変換する場合は、この設定を行ないます。 つぎの7種類から選択できます。選択しないこともできます。

#### Power COBOL97 (85)

日立COBOL85NECCOBOL85マイクロフォーカスNet Express (MICRO FOCUS COBOL)AcucorpACUCOBOL (コンパイルオプション : -Dca)AcucorpACUCOBOL (コンパイルオプション : -Dci)AcucorpACUCOBOL (コンパイルオプション : -Dci)

#### ◆注意 ---- Windows COBOLの設定は環境設定から

Windows COBOLベンダの設定は変換設定ではなく設定(<u>S</u>)→環境設定(<u>K</u>)→ 主設定の変更(<u>E</u>)から行います。

# ■ホストエンディアンの設定

2進形式データを変換する場合は、この設定を行ないます。ホスト2進形式のエンディアン(格納順)をつぎのどちらかに設定します。

ビッグ(正順)

リトル(逆順)

ホストコードがUCS-2の場合にはコードのエンディアンもこの情報が使われます。

# ■ANKコードの設定

ANKコードの設定とは、ホストの(ホストファイルの) ANKコード系として、

EBCDIC(カタカナ)コード
EBCDIC(英小文字)コード
JIS8/ASCIIコード

のどれかが使われているかを設定することです。より正確には、データ交換の相手システムが EBCDICコードを基本とするシステムか、JIS8/ASCIIコードを基本とするシステ ムかを設定することです。ANKコードの設定は、

#### ANK文字の変換(Ank 変換)

だけでなく、

スペース文字の決定 ゾーン形式の数値項目の変換 パック形式の数値項目の変換 第2章 セットアップ--

などにも影響します。とても重要な設定であることを忘れないでください。

#### 大部分のホストは、EBCDIC(カタカナ)コードを採用

しています。

#### ◆参考...

EBCDICは「エビシディック」と読みます。 JIS8/ASCIIは「ジスハチ/アスキー」です。 また、ANKは「アンク」です。

## ■ANK変換表の編集

2 種類のANK表(ANK変換表、ユーザーA/B変換表)があります。必要であれば、修正を 行ないます。操作はごく簡単です。

# ■コード変換表の保存

ここまでのセットアップ処理はメモリ上で行なわれているに過ぎません。つぎからの起動時に もセットアップ作業を有効にするには、それをディスク上のコード変換表ファイルに書き戻して、 保存する必要があります。変更点がなければ、キャンセルボタンをクリックして変換設定を終了 します。

保存して閉じる(<u>S</u>)ボタンをクリックすると、"ファイル名を付けて保存"ウインドウが開きます。通常は、このまま、保存(S)ボタンをクリックします。

#### ●セットアップ結果を別の名前のコード変換表に保存したい場合

仮に、X. CCTという名前のコード変換表として、指定のディレクトリに保存したいとしま す。それには、保存して閉じる(<u>S</u>)ボタンをクリックして、"ファイル名を付けて保存"ウイ ンドウを開き、ファイル名にXを入力してから、保存(<u>S</u>)ボタンをクリックします。 その後、設定のホスト選択でX. CCTを選択します。

第3章



第3章 システム構成・

# 3.1 動作OSと動作環境

F\*TRAN+ V8.0 は動作するOS別に2種類の製品があり、それぞれ以下の条件で動作します。

## 【動作OS】

#### ■F\*TRAN+ V8.0 Server

●Windows	Server	2008	Standard/Enterpris	е
●Windows	Server	2008	R2 Standard	
●Windows	Server	2008	R2 Enterprise	
●Windows	Server	2012	Standard	
●Windows	Server	2012	Datacenter	
●Windows	Server	2012	R2 Standard	
●Windows	Server	2012	R2 Datacenter	
●Windows	Server	2016	Standard	
●Windows	Server	2016	Datacenter	
●Windows	Server	2016	Essentials	
●Windows	Vista E	Enterp	prise/Business	
●Windows	7 Profe	essior	nal/Enterprise	
●Windows	8.1 無印/	⁄ P r o		
●Windows	10 Home	e∕Pro∕	/Enterprise	

■F\*TRAN+ V8.0 Desktop

Windows Vista Enterprise/Business
Windows 7 Professional/Enterprise
Windows 8. 1 無印/Pro
Windows 10 Home/Pro/Enterprise

注:上記 OS の内 64bit OS については Wow64 上でのみ動作します。

#### 【動作環境】

## ※最新情報は下記ホームページにてご確認ください。

・ホームページ : http://www.fujitsu.com/jp/group/bsc/services/ftran/

第4章



# 4. 1 バージョンアップ内容

F\*TRAN+ V7.0から V8.0 へのバージョンアップ内容は、以下のとおりです。

# ■Windows10での動作をサポートしました。

Microsoftの最新OS「Windows10」上での変換が可能です。

# ■Windows Server2016での動作をサポートしました。

F\*TRAN+ V8.0 Serverにて、Microsoftの最新ServerOS 「Windows Server2016」上での変換が可能です。

第5章

タッチ&トライ

# 5. 1 ホスト→Winファイル変換

実際にサンプルデータを使って、ホストファイル "Planet"をWindowsファイル "Planet.get"に変換する作業を試して見ましょう。ここでは、ホストが汎用機・オ フコン、出力側のコードがシフトJISであると想定しています。

①スタートメニューより、プログラム (P) →  $F - TRAN + \delta p$  リックして、

F\*TRAN+を起動します。起動すると、つぎのメインウインドウが立ち上がります。 起動時には、ホスト→Winデータファイル変換(プリント形式)の状態になっていますが、 これから行なう作業はホスト→Winデータファイル変換(プリント形式)なので、 このままの状態から始めます。(下図の①のところを確認してください。)

$\mathbb{Q}$ $\mathbb{Q}$ $\mathbb{Q}$ $\mathbb{Q}$	2
F*TRAN+	
ファイル(E) Ψール(I) 設定(S) 変換時ログ表示(K) ヘルプ(H)	
ホスト → Winファイル変換 Win → ホストファイル変換 ホストファイル名仰: マ Winファイル名(W): Incomura¥My Documents¥FTRANP¥Data¥* (Win変換方法) Oテキストファイル(D) Oラング	ata¥ 参照(2) (get 参照(2) ダムファイル(R) マップ設定(P)
ホストオブション レコード長(L): 256 Winオブション	既存の出力ファイルを(B) 置換える ご変換結果表示(V) 間合わせ・確認(Q)
出力形式(Q): プッソント マ (ANK1-ト): EBCDIC(切物力+) 環境: C¥Docume	詳細(E) 変換(G)
ロード変換方式: JEF ロード変換表ファイル: F-TRAN.CO WinCOBOL: マイクロフォーカス MasterEncoding: シフトJIS インストールディレクトリ: C:¥Program	T (標準設定(汎用機・オフコン)) Files¥FujitsuBSC¥FTRANP

②変換するホストファイル名(<u>I</u>)を指定します。ファイル名がわかっている場合は、ホストファイル名の欄に"C:¥FtranP¥Planet"のように入力しますが、ファイル名がわからないという前提で操作を行ないます。ホストファイル名の参照(<u>Y</u>)ボタンをクリックすると、

つぎのホストファイル参照ウインドウが開きます。



③ホストファイル参照ウインドウが開いたら、ウインドウの中の"Planet"を ダブルクリックします。ダブルクリックすると、ホストファイル参照ウインドウが閉じて、 メインウインドウのホストファイル名(<u>I</u>)のところに"Planet"が指定された状態 になります。 第5章 タッチ&トライ =

$\overline{4}$	5
F*TRAN+	
ファイル(E) ツール(T) 設定(S) 変換時ログ表示(K) ヘルプ(H)	
ホスト → Winファイル変換 Win → ホストファイル変換	
ホストファイル名(): suBSC¥FTRANP¥Samples¥PLANET¥PLANET 参照() V Winファイル名(W): inomura¥My Documents¥FTRANP¥Data¥*.get 参照(2)	Host
【Win変換方法】	
○デキストファイル図 ○データファイル ○ ○ランタムファイル 图	既存の出力ファイルを(1)
~ホストオラション レコード長(止): 256	置換える ▼ □変換結果表示(V)
- Winオプション	□問合わせ・確認@
出力形式(②): プリント	<u>変換(G)</u>
ANKコード: EBCDIC(加加力) 環境: C:¥Documents and Settings¥nomu コード変換方式: JEF コード変換表ファイル: F-TRAN.CCT (標準設定(汎用機・) WinCOBOL: マイクロフォーカス MasterEncoding: シフトJIS インストールディレクトリ: C:¥Program Files¥FujitsuBSC¥FT	ra¥My Documents¥FTRANP¥ 打コン)) RANP
	NUM

- ④Winファイル名(W)の指定は、すでに " ~ \*.get"と指定されていますので、 このままの状態にします。Winファイル名はホストファイル名を引き継ぐ指定となるので、 "Planet.get"という名前のファイルになります。
- ⑤マップ設定は、変換するデータの中に漢字やCOBOLの数値項目(パック、ゾーン形式)、 日付データ項目が入っている場合のファイルレイアウトを指定します。 マップ設定(<u>P</u>)のボタンをクリックすると、つぎのウインドウが開きます。



⑥簡易設定(<u>S</u>)が選択されていることを確認してOKボタンをクリックすると、 つぎのマップ設定(簡易)のウインドウが開きます。

		Ś	7)						
7	ップ設定(簡	易) ホスト	.→Win デー	タファイル変換	Ŕ				
771.	ル( <u>F</u> ) 編集( <u>E</u>	) ツール( <u>T</u> )							
CBL	lo X B		X 🔍 Wig		-ズ(P)		ſ	ОК	キャンセル
Ŧ	」								
Í	クリア(D)	Alpha(W)	Ank(1)	)	Ank・漢字(3)	) 對值(4)	ゾーン・表示の	「パック・表示(6)	
	7-#°-4/9)	#*				0.%.h.\%_\)		(오케티운(5)	
	±= x8 x/A				$\sum_{i=1}^{n} \sum_{j=1}^{n} \sum_{i=1}^{n} \sum_{i=1}^{n} \sum_{i=1}^{n} \sum_{j=1}^{n} \sum_{i$	197-7-7			
4	表示・アークロ	表示 パッパ	0 表示・2連00	2進•表示([	ノ アーク・25進(M)	ハック・25度(	N) 23E-7-707	2,進*///9/(P/	21進*21進(以)
1	パイナリ反転(R)	表示へ(S)	Y_\(T)	(U)	2進へ(V)	Alpha^(	2		BY(H)
	Ank(と♡	( 漢字化(Y)	Alpha・ソ <sup>×</sup> −ソク	2) (Alpha・ハ°ック	.)[Alpha・2進(/)	ゾーン・Alpha	(:)[パッウ・Alpha(@)]	2)進・Alpha(-)	)
	Atlas( <u>A</u> )	チェック(C)	※ ダブル	クリックで入力。	ダイアログを開く		入力	ルコード長の: 25	i6 😂
No.	.   †°୬°୬∍୬	デーが形式	入力	出力	″~″ デリ≷	タ 己文行 コン	5)k		<u>^</u>
No. 1	. (ホ°シ°ション	データ形式 Ank	入力 2	出力	″~″ <del>7</del> °७३	<mark>り 改行 コ</mark> ン N	k)ト o. (惑星番号)		
No. 1 2	. ่่่่†°୬`୬∍ン	デー如形式 Ank 漢字	入力 2 8	出力	"~" 7°9३: 	<mark>り 改行 コ</mark> ン N 利	い <mark>ト</mark> o. (惑星番号)  名		
No. 1 2 3	. ∲°୬ັ୬∍ン	データ形式 Ank 漢字 Ank	入力 2 8 10	出力	<i>"~"</i> デリミ		い <mark>い o. (惑星番号)</mark> 名 :名		
No. 1 2 3 4	- 本°シ°ション	データ形式 Ank 漢字 Ank Ank	入力 2 8 10 9	出力	"~" 7°Y3:		N) o. (惑星番号) 名 :名 :み :み :み		
No. 1 2 3 4 5 6	- 市°シ <sup>*</sup> ション	デー研形式 Ank 漢字 Ank Ank N°ック・表示	入力 2 8 10 9 u4.3 u2	出力	<i>"~"</i> デリミ: 	2010日 20111 20111 20111 20111 2011	N) o. (惑星番号) 1名 2名 読み 量比 遅数(確定済)		
No. 1 2 3 4 5 6 7	<ul> <li>市*ジ*ジョン</li> <li>ニーニー</li> <li>ニー</li> <l< th=""><th><ul> <li>デー研形式</li> <li>Ank</li> <li>漢字</li> <li>Ank</li> <li>Ank</li> <li>パック・表示</li> <li>ゾーン・表示</li> <li>ゾーン・表示</li> </ul></th><th>入力 2 8 10 9 u4.3 u2 s2.1</th><th>出力</th><th><sup>"</sup>~" デリミ・</th><th>2 改行 二 入 和 二 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</th><th>NA o. (惑星番号) 名 :名 : 通比 · 星数(確定済) 大等級(見かけ上</th><th>の最大の明るさ</th><th></th></l<></ul>	<ul> <li>デー研形式</li> <li>Ank</li> <li>漢字</li> <li>Ank</li> <li>Ank</li> <li>パック・表示</li> <li>ゾーン・表示</li> <li>ゾーン・表示</li> </ul>	入力 2 8 10 9 u4.3 u2 s2.1	出力	<sup>"</sup> ~" デリミ・	2 改行 二 入 和 二 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	NA o. (惑星番号) 名 :名 : 通比 · 星数(確定済) 大等級(見かけ上	の最大の明るさ	
No. 1 2 3 4 5 6 7 8	<ul> <li>市*ジ*ジョン</li> <li>ニー</li> <li>ニー</li></ul>	データ形式       Ank       漢字       Ank       パック・表示       ゾーン・表示       ゾーン・表示       漢字	入力 2 8 10 9 u4.3 u2 s2.1 20	出力	<sup>*</sup> ~ <sup>*</sup> デリミ <sup>*</sup>	2 改行	<ul> <li>(惑星番号)</li> <li>(惑星番号)</li> <li>(名)</li> <li>(名)</li> <li>(本)</li> <li>(************************************</li></ul>	の最大の明るさ	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>
No. 1 2 3 4 5 6 7 8 9	<ul> <li>市*ジ*ジョン</li> <li>ニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	デー研形式       Ank       漢字       Ank       パック・表示       ゾーン・表示       ゾーン・表示       漢字       年設定	入力 2 8 10 9 u4.3 u2 s2.1 20 w30	出力	<sup>™</sup> ~ <sup>™</sup> テ <sup>ャ</sup> リミ <sup>ャ</sup>	2 改行	<ul> <li>小</li> <li>・ (惑星番号)</li> <li>1名</li> <li>:名</li> <li>:通比</li> <li>:星数(確定済)</li> <li>:天等級(見かけ上)</li> <li>:名の意味・由来</li> <li>年設定:1930-202</li> </ul>	の最大の明るさ 8 >	······································
No. 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	・ 市°シ°ション	デー研形式       Ank       漢字       Ank       パック・表示       ゾーン・表示       ゾーン・表示       ジーン・表示       実字       年設定       日日	入力 2 8 10 9 u4.3 u2 s2.1 20 w30 年.月.日	出力	"~" <sup>5°</sup> 判彩	b 改行	<ul> <li>小</li> <li>・ (惑星番号)</li> <li>1名</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>エンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェン</li></ul>	の最大の明るさ 9 > 9999.99.99 >	·>
No. 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	・ 市*ジ*ジョン 	データ形式       Ank       漢字       Ank       パック・表示       ゾーン・表示       ゾーン・表示       実会の記号       日付	入力 2 8 10 9 u4.3 u2 s2.1 20 w30 年.月.日 yymmdd	出力	"~" 疗*リミ・	9 改行 二 次 次 次 次 次 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	・、(惑星番号)       ・、(惑星番号)       宮名       添み       重比       重数(確定済)       大等級(見かけ上)       活の意味・由来       年設定:1930-202       日付区切り設定:       *~ト提出年月日	の最大の明るさ 9 > 9999.99.99 >	
No. 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	<ul> <li>市*ジ*ジョン</li> <li>・</li> <li></li></ul>	デー研形式       Ank       漢字       Ank       パック・表示       ゾーン・表示       ゾーン・表示       漢字       年設定       区切記号       日付	入力 2 8 10 9 u4.3 u2 s2.1 20 w30 年.月.日 yymmdd	出力	"~~" テ*リミ・	2 改行	<ul> <li>(惑星番号)</li> <li>(惑星番号)</li> <li>(名)</li> <li>(名)</li> <li>(金)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2)</li> <li>(2</li></ul>	の最大の明るさ 9 > 9999.99.99 >	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>

⑦マップ設定(簡易)ウインドウのNo. 1~No. 11のデータ形式、入力幅、出力幅を、 つぎのように設定します。

N o	データ形式	入力幅	出力幅	コメント (入力不要)
1	An k	2		No. (惑星番号)
2	漢字	8		和名
3	An k	10		英名
4	An k	9		読み
5	パック	u4.3		質量比
6	ゾーン	u 2		衛星数(確定済)
7	ゾーン	s 2. 1		極大等級(見かけ上の最大の明るさ)
8	漢字	2 0		英名の意味・由来
9	年設定	w 3 0	w 3 0 (省略可)	<1930-2029>
1 0	区切記号	. (ピリオド)		<9999.99.99>
1 1	日付	y ymmdd	y y y y -mm-d d	レポート提出年月日

第5章 タッチ&トライ —

設定はキーボードを使って直接入力してもよいのですが、つぎのように操作すると、比較的簡 単に行なうことができます。No. 1のデータ形式の欄をダブルクリックすると、データ形式等 の入力ウインドウが開きます。

8		(9)  (10)	
データ形式等の入力			$\mathbf{X}$
<ul> <li>Alpha (1)</li> <li>Ank (2)</li> <li>Ank(L (3)</li> <li>漢字 (4)</li> <li>漢字(4)</li> <li>漢字(1)</li> <li>(5)</li> <li>Ank・漢字 (6)</li> </ul>	<ul> <li>○入力幅 (U): 2</li> <li>○定数 (M):</li> <li>定数は[]でくくる。 例:[ANK][Space</li> </ul>	い 必要があります e],[LowValue],[Hig]	hValue]
<ul> <li>Alpha (7)</li> <li>Alpha (1)</li> <li>表示 (8)</li> <li>表示 (M)</li> <li>ゾーン (9) ×</li> <li>ゾーン (N)</li> <li>ハ<sup>*</sup>ック (A)</li> <li>ハ<sup>*</sup>ック (O)</li> <li>2進 (B)</li> <li>2進 (P)</li> <li>定数・変数(C)</li> </ul>	出力	力幅 (N):	*
<ul> <li>○ パイナリ (D)</li> <li>○ パイナリ 反転 (E)</li> <li>○ スーサント (E)</li> </ul>	引用符:	<ul> <li>● なし(Q)</li> <li>● 左&lt;くり(Q)</li> </ul>	<ul> <li>○両&lt;&lt;&lt;り(P)</li> <li>○右&lt;&lt;り(P)</li> </ul>
<ul> <li>□ ユーザーB (Q)</li> <li>○ ユーザーB (Q)</li> <li>○ 年設定 (H)</li> <li>○ 区切記号 Φ</li> <li>○ 日付 (U)</li> </ul>	デリミタ挿入:	⊙有効⑤	○無効①
⊖ вү (Ю		OK	++>tu

⑧Ank(2)をクリックして、データ形式を選択します。

⑨入力幅の▲をクリックして、入力幅を2にします。

**⑩**OKボタンをクリックして、設定を確定します。

同様にNo. 2~No. 11を設定します。

- No. 5~No. 7のパック/ゾーンは、整数部と小数部の指定を行ないます。
- No. 7のゾーンは、入力符号ありを選択します。
- No. 9の年設定は、入出力ともにウインドウ方式で1930~を選択します。
- No. 10の区切記号は、ピリオド(年.月.日)を選択します。
- No. 11の日付は、入力にyymmdd、出力にyyyy-mm-ddを選択します。

			(11)					<u>1</u> 2 <u>1</u> 3
<b>マッ</b> プ	)設定(簡)	易) ホスト	、→ Win デー	タファイル変換	ł			
ファイル( <u>F</u> 登上 変換:	ファイル(E) 編集(E) ツール(D)     ・       ビー あ 国 国 王 へ 監 フェーズ(P)     OK       変換プレビュー     ・							
変	換元データ	: C:¥Program	n Files¥FujitsuB	SC¥FTRANP¥S	amples¥PLA	NET¥PLA	ANET	
							(	
Atl	las( <u>A</u> )	fェック( <u>C</u> )						入力レコード長の: 256 🔷
No.	ポジション	デーが形式	<u>አ</u> ታ	出力	~~"	入力桁	出力桁	変換後データ ( 1/10 レコード )
1		Ank	2			0	0	
2		漢字	8			2	2	水星
3		Ank	10			10	10	MERCURY
4		Ank	9			20	20	7-1-1-
5		がック・表示	u4.3			29	29	0.055
6		リーン・表示	u2			33	37	
7		アーフ・表示	sZ.1			35	39	
8		() ) 注意。 注意。 注意。	20			38	44	
9	L	中設定	W3U 佐日口			08 50	64 64	
10		- 区功記方	4. <i>Л</i> . С			00 50	04 04	1000 04 20
11	<u> </u>		yynniud	yyyy-mm-uu		00	04	
12				1				140 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 40 4
								5

11設定がすべて完了したら、変換プレビューボタンをクリックして見ましょう。

プレビューモードにすると、変換前と変換後のデータを前もって確認することができます。 ここで、マップ設定が正しいかどうかを確認できます。

10プレビューモードで、変換前/後の切り替えができます。
 変換後のデータが正しく表示されているかどうかを確認しましょう。
 確認したら、再度⑪の変換プレビューボタンをクリックして、
 プレビューモードから入力モードに戻します。

<sup>13</sup>マップ設定が完了したら、OKボタンをクリックしてマップ設定を終了させます。

第5章 タッチ&トライ ——

F*TRAN+	
ファイル(E) ツール(E) 設定(S) 変換時ログ表示(K) ヘルプ(H)	
ホスト → Winファイル変換 Win → ホストファイル変換	
ホストファイル名仰: suBSC¥FTRANP¥Samples¥PLANET¥PLANET 参照() マ Winファイル名(W): fnomura¥My Documents¥FTRANP¥Data¥*.get 参照(2)	Host
【Win変換方法】 ○テキストファイル図 ◎データファイル(D) ○ランダムファイル(B)	マップ設定(P)
(ホストオブション)	既存の出力ファイルを(B) 実地ラス
レコード長(止): 256 🛟	□ 交換結果表示(V)
Winオプション	
出力形式(2): プリント 🔹 詳細(E)	<u>変換(G)</u>
ANKコード: EBCDIC(カタカナ) 環境: C:¥Documents and Settings¥nomu コード変換方式: JEF コード変換表ファイル: F-TRAN.CCT (標準設定の几用機・) WinCOBOL: マイクロフォーカス MasterEncoding: シフトJIS インストールディレクトリ: C:¥Program Files¥FujitsuBSC¥FT	ra¥My Documents¥FTRANP オフコン) RANF
	14 15

④変換後にWinファイル(Planet.get)の内容を表示して確認するために、 変換結果表示(V)のチェックボックスをONにします。

⑤設定がすべて完了しましたので、変換(G)ボタンをクリックします。
 変換ボタンをクリックすると変換が始まり、
 変換中であることを示す実行ウインドウ(つぎのページ)が開きます。

F*TRAN+	
変換開始. C:¥¥PLANET¥PLANET → C:¥¥Data¥PLANET.get データファイル変換. 変換終了.	
コート*変換表ファイル:F-TRAN.CCT(標準設定(汎用機・オフコン)) ANKコート*:EBCDIC(かか),コード変換方式:JEF,WinCOBOL:マイクロフォーカス	
(16)	

⑩処理が正常に終了したことを確認したら、"閉じる"ボタンをクリックします。



①実行ウインドウを閉じると、つぎのファイル内容表示ウインドウが開きます。 変換結果を確認してみましょう。確認が終了したら、OKボタンをクリックします。

18	
F*TRAN+	
ファイル(E) ¥ール(I) 設定(S) 変換時ログ表示(K) ヘルプ(H)	
ホスト → Winファイル変換 Win → ホストファイル変換	
ホストファイル名仰: suBSC¥FTRANP¥Samples¥PLANET¥PLANET 参照() マ Winファイル名W: fnomura¥My Documents¥FTRANP¥Data¥*.get 参照(2)	Host
【Win変換方法】 ○テキストファイル⊗ ⊙データファイル(D) ○ランダムファイル(B)	マップ設定(P)
- ホストオブション	既存の出力ファイルを(B) 置換える ▼
Winオジョン	<ul> <li>✓変換結果表示(½)</li> <li>□問合わせ・確認(Q)</li> </ul>
出力形式(2): プリント 🔹 詳細(E)	<u>変換(G</u> )
ANKコード: EBCDIC(加加力) 環境: C:¥Documents and Settings¥nomu コード変換方式: JEF コード変換表ファイル: F-TRAN.CCT (標準設定の用機・) WinCOBOL: マイクロフォーカス MasterEncoding: シフトJIS インストールディレクトリ: C:¥Program Files¥FujitsuBSC¥FT	ra¥My Documents¥FTRANP¥ オフコン)) RANP
	NUM

⑧これでホスト→Winファイル変換の一連の操作は終了しましたが、いままでに設定した内容をスクリプトファイルに保存することができます。保存する場合は、メインウインドウの"保存"のボタンをクリックします。保存設定のウインドウが表示されたら、OKボタンをクリックし、
 "名前をつけて保存"のウインドウが表示されたら、ファイル名を入力し、保存(S)ボタンをクリックします。設定が保存されます。

保存したスクリプトファイルは、"開く"ボタンをクリックすれば、 いつでも呼び出すことができます。そして、エクスプローラからダブルクリックするだけで、 F\*TRAN+のメインウインドウを開かずに自動実行させることができます。

#### ■出力コードがUnicodeの場合

出力側がWindowsの場合、出力コードとしてシフトJIS、UCS-2 LE、UCS -2 BE、UTF-8の選択が可能です。以下の設定を行ってください。

設定(<u>S</u>)→環境設定(<u>K</u>)→主設定の変更(<u>E</u>)で表示される以下の画面でマスターエンコ ーディングを変換したいコードに設定します。

				2			
主設定変更						X	
- エンコーディング設定	エン	コ <sub>コ</sub> ディング	ÿ	BC	ЭМ		
MasterEncoding( <u>M</u> ):	Unicode	(UCS-2 LE)	) 🔽	✓ BOM自動 ✓			
SystemEncoding( <u>S</u> ):	シフトリエ	S	*		~		
UserEncoding( <u>U</u> ):	シフトル	S	~		<b>~</b>		
Ank(ANK)変換( <u>A</u> ):		英致出力 半角固定	- 特殊又 - 半角固	.子出力 [定	川ナ出川 半角 🔹	-	
AnkiZe(ANK化)変換( <u>B</u> ):		半角固定	半角固	定	半角	•	
KanjiMix(ANK・漢字)変換( <u>C</u> ):		透過的 💊	🖌 透過的	ካ 💌	透過的 🕚		
Kanji(漢字)変換( <u>D</u> ):		全角 🔹	∕ 全角	*	全角		
KanjiZe(漢字化)変換( <u>E</u> ):		全角	∕ 全角	*	全角		
マイクロフォーカス … Net Express (MICRO FOCUS COBOL) 🔽							
OK ++>セル							

- ①変換したいWindows側のコードを、シフトJIS、UCS-2 LE、UCS-2 BE、UTF-8から選択します。
- ②UCS-2 LE、UCS-2 BE、UTF-8を選択した場合、BOMの扱いについて、 BOM自動、BOMあり、BOMなしから選択します。BOM自動は、コードがUCS-2の 場合はBOMあり、UTF-8の場合はBOMなしと同じです。BOMありでは出力される ファイルの先頭にBOMを付けます。BOMなしでは付けません。

マスターエンコーディングの設定値はメイン画面の下にあるステータス領域に表示されます。

マスターエンコーディングの設定情報は主設定ファイルに保存され、次にF\*TRAN+を実行した時の省略値となります。Windows側のコードは一時的な設定も可能です。メイン画面のWinオプションにある詳細( $\underline{E}$ )ボタンをクリックして表示される以下の画面で設定します。

詳細(Winオブション)	$\mathbf{X}$					
<ul> <li>■ EOF付加(E)</li> <li>■ EOF付加(E)</li> <li>■ MasterEncodinglご従う(M) MasterEncoding: □CS2-LE(BOM自動)</li> <li>● ジフトJIS(S)</li> <li>● Unicode(UCS-2)(2)</li> <li>● Little Endian(L)</li> <li>● Big Endian(B)</li> <li>● Unicode(UTF-8)(8)</li> <li>パイトオーダーマーク(BOM):</li> </ul>						
引用符<くり						
引用符の種類(K): なし 💌						
データとしての引用符の扱い( <u>C</u> ): 削除						
2連化時の優先処理(D):						
出力幅優先(入力と同じ出力幅にし、桁ずれを回避する 🗸						
OK ++>\tell						

第6章

サポート・サービスについて

# 6. 1 サポート・サービスについて

- ユーザー登録について 本製品を購入された場合は、必ずユーザー登録を行ってください。
   ユーザー登録は、下記の弊社ホームページから行ってください。
- 2.「年間サポート・サービス」について 本製品には、「年間サポート・サービス」が標準提供されています。
  - 本サービスは、本製品の「ユーザー登録」を行っていただくことが必要になります。
  - お問い合わせの際に、ユーザー登録の確認をさせていただきます。未登録の場合、お問い 合わせの内容によっては、対応をお断りさせていただくことになりますので、ご注意くだ さい。

サポート・サービスの詳細についてはパッケージに同梱されている「F\*TRANサポート・ サービス」をご覧ください。

#### 【F\*TRANホームページ】

http://www.fujitsu.com/jp/group/bsc/services/ftran/

#### 【サポートサービスの内容】

- ・ 電話による質問への対応
- E-mailによる質問への回答
- バグ修正版の無償提供

F\*TRAN+ V8.0 操作説明書/導入編

#### 2017年 1月 第1版発行

編集・著作 株式会社 富士通ビー・エス・シー 所 在 地 〒135-8300 東京都港区台場 2-3-1 トレードピアお台場

- Windows、MS-DOS、Visual Basic、Access、Visual C++は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Unicode は Unicode コンソーシアムの商標です。
- ・Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- ・F\*TRAN は富士通ビー・エス・シーの登録商標です。
- ・会社名および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・本書およびシステムは、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- ・無断複製、および転載を禁じます。